

平成30年9月7日

# 雲 仙 市

担当課	教育委員会	スポーツ振興課
担当者	参事補	林田 幸一
電 話	0957-37-3113	
F A X	0957-37-3112	

## 「雲仙市新小浜体育館（仮称）新築工事設計業務プロポーザル審査における公開プレゼンテーション及びヒアリングの実施」について

延期していました、一次審査により選定した4者の技術提案についてプレゼンテーション（技術提案書の説明）及びヒアリングを、下記のとおり公開で行いますのでお知らせします。

なお、本プロポーザルは、今後、設計業務を依頼する者（人）を選ぶものであり、設計案を選定するものではありません。具体的な設計は、設計者を選定した後に着手することとなります。

### 記

- 1 開催日 平成30年9月19日（水）
- 2 場 所 雲仙市千々石庁舎 3階多目的室（雲仙市千々石町戊582番地）
- 3 スケジュール
  - ・ 9：20 開場
  - ・ 9：40～ 9：45 注意事項等の説明
  - ・ 9：45～12：15 プレゼンテーション及びヒアリング実施  
1者につき30分  
（説明12分、質疑応答18分）  
途中提案者入れ替えのための休憩あり
  - ・ 12：20 終了

※ 審査の公平性を保つため、ご来場の皆様及び審査委員には、技術提案（説明）者の氏名や所属する設計事務所等の名称を伏せてヒアリングが行われます。

#### 4 傍聴について

写真撮影、録音及び録画は出来ません。また詳細については「雲仙市新小浜体育館（仮称）新築工事設計業務プロポーザル審査における公開プレゼンテーション及びヒアリングの傍聴について」をご参照ください。

# 雲仙市新小浜体育館（仮称）新築工事設計業務プロポーザル審査 における公開プレゼンテーション及びヒアリングの傍聴について

今回の「プレゼンテーションとヒアリング」は、雲仙市新小浜体育館（仮称）新築工事の設計者を選定するための二次審査の一環として行うもので、最適な創造力、技術力、経験及び実施体制などを持つ「設計者（これから設計する人）」を特定するプロポーザル方式により行います。

本日、各技術提案者から提案されます雲仙市新小浜体育館（仮称）の配置やデザイン等は、あくまで今回の技術提案におけるイメージ図となっており、実際のデザイン等とは異なります。具体的なデザイン等は、設計者を選定した後、設計を行う中で検討していきます。

また、本日の「プレゼンテーションとヒアリング」は、設計者を選定するための重要な判断要素となりますので、傍聴マナーには、十分なお配慮をお願いいたします。

## ■傍聴にあたっての留意事項

- 傍聴者からのご質問は受け付けできませんので、ご了承ください。
  - 会場では静粛に傍聴していただくとともに、発言、拍手またはその他の方法により、賛否を含め、意思表示等をしないでください。
  - のぼり、旗、プラカード、はちまき、たすき、ゼッケンその他示威のために利用すると認められるものを携帯、または着用しないでください。
  - 会場内での飲食及び喫煙は固くお断りしていますので、ご了承願います。
  - 携帯電話など音を発する機器をお持ちの方は電源をお切りになるか、マナーモード等に設定し、会場内での通話をご遠慮ください。
  - 写真撮影、録音及び録画は固くお断りしていますので、ご了承願います。
  - プレゼンテーション及びヒアリング途中での入退室はお控えください。やむを得ず入退出される場合は、お静かに後方の出入口から入退出をお願いいたします。
  - 上記以外のことについても、係員の指示に従ってください。
- ※ 以上のことを守られない場合は、退席していただくことがあります。

## ■スケジュール

- 9:20 開場
- 9:40～ 9:45 注意事項等の説明
- 9:45～12:15 プレゼンテーション及びヒアリング実施  
1者につき30分（説明12分、質疑応答18分）  
途中提案者入れ替えのための休憩あり
- 12:20 終了

※審査の公平性を保つため、ご来場の皆様及び審査委員には、技術提案（説明）者の氏名や所属する設計事務所等の名称を伏せてヒアリングが行われますので、ご了承ください。

## ■技術提案書の特定テーマについて

各提案者から以下の特定テーマに対する技術提案があり、その後、技術提案者に対しヒアリングを行います。

- 特定テーマ1：周辺の住環境に配慮し、立地を活かした文化・観光を融合した街の賑わいを創出する複合施設としての考え方
- 特定テーマ2：多世代が多種多様なスポーツ交流を通じ健康増進・地域活性化を図る拠点施設としての考え方
- 特定テーマ3：大小さまざまな運営利用を想定した、効果的な部門配置計画や動線計画についての考え方
- 特定テーマ4：エコで災害に強く、LCC（ライフサイクルコスト）低減と長寿命化へ向けての考え方